

ハートランド推進賞授与式開催

令和元年10月18日

個人の部

白井 貞夫さん

白井さんは雨の日も雪の日も一年 365 日毎日欠かさず、朝早く自作の網を手に八幡堀へ行き、たった一人でゴミをすくって回収し、八幡堀の景観保全の一役を担われていること、ご存知の方は少ないのではないのでしょうか？白井さんの活動は、市民制作ドキュメンタリー映画『結い魂』（2011 年制作）で紹介されています。ご高齢になられた今も毎日欠かさず八幡堀でゴミを拾い続けておられる白井さんにたくさんの拍手が送られました。（令和 2 年 3 月末をもって活動は勇退されました。）



団体の部

八幡山の景観を良くする会

八幡山の景観を良くする会（略して八景会）さんは八幡山の整備活動を始めて 14 年目のグループで、八幡山の竹林や縦走路周辺の整備を定期的に続けておられます。

春と秋には親子を対象としたタケノコ掘り大会や八幡山縦走イベントを開催され、好評を博しています。「八幡山の景観を良くしたい」と活動を開始。近江八幡のシンボルである八幡山。ブッシュを切り拓き、ハイキングルートを開通し、随所に案内看板や標識を設置し、多くの市民が四季折々の自然に親しみ、気軽に安心して行ける八幡山へと長い活動期間を経て変貌させました。定期的な整備だけでなく、台風が過ぎ去った後はいつもチェーンソーなど必要な工具を担いで八幡山へ行き、倒木の処理や縦走路の安全確認をしてくださっている会の皆さん。近江八幡のまち、水郷を一望できる場所を整備し、大切にすることを活動を通して伝えてくださっています。



http://hachimanyama.ciao.jp/design_blog/
活動の様子はブログで発信されています↓



ハートランド推進財団はまちづくり活動に尽力されている人、団体を応援しています

ハートランド推進賞に相応しい活動をされている個人・団体をお知らせ下さい。
下記（一財）ハートランド推進財団まで、電話、メールなどお待ちしております。



（一財）ハートランド推進財団 事務局
〒523-0864 近江八幡市為心町元9番地（白雲館内）
TEL.0748-33-5510/FAX.0748-33-5697
E-mail. chukan@npo-omi8man.com

《交通のご案内》

JR 近江八幡駅北口バス乗り場より近江鉄道バス「長命寺」行き→「大杉町」下車、徒歩 2 分



この印刷物は、琵琶湖の環境保全活動を支援する寄付金付印刷用紙びわ湖環境ペーパーを採用しています。また、適切に管理された森林の木材を利用したFSC®認証用紙を使用し、大豆油インキを包含した植物油インキ及び、有害な廃液を排出しない水なし印刷を用い、その製造及び廃棄におけるCO2排出量をCO2を減らすカーボンオフセットしています。この印刷物1部あたりのCO2排出量は上記の通りです。

はーとらんど通信 vol.9

2020.5月号
（一財）ハートランド推進財団 情報誌

八幡塾 開催の報告

2020年度も市民活動を支援し
「心のふるさと」近江八幡の
まちづくりに取り組んで参ります

第50回八幡塾

令和元年10月18日

地域活性化と“自然サービス農”



西辻 一真氏

株式会社マイファームの代表取締役社長西辻一真氏を迎え、ご講演いただきました。「農家になりたい」と願った西辻少年が、2007 年 24 歳で農業ベンチャー企業を起業し、農と人をつなぐビジネスで社会を変えたいと、信念をもって奔走されているお話、耕作放棄地を探し、農地として活用出来るように貸し出すことができるシステムの構築など、お話しくださいました。農業は生業として生活するには厳しい産業である現実を、何とかしたいという思いが伝わってきました。

参加した皆様からは「農業に対する熱意を会社経営、日本、人間の生き方までつなげて努力されていることに共感しました。」「資本主義社会の中で価格が決まるメカニズムに対してのアプローチ等、着眼点がおもしろい。」「考え方、思いつきが新しく感じられた。」と多くのご感想をいただきました。

第51回八幡塾

令和 2 年 2 月 28 日

『関白秀次の切腹』の刊行と新知見



矢部 健太郎氏

国学院大学文学部教授の矢部健太郎氏を迎え、天下統一を果たして戦国時代を終わらせた豊臣秀吉の、晩年の汚点のひとつとされる《豊臣秀次切腹事件》。「愛息秀頼を後継者とするため、《摂政関白》の悪名高い甥の秀次に追放・切腹を命じ、その一族を大量処刑した」という通説についての新知見をお話いただきました。参加者アンケートに「大変わかりやすく、良かった。資料を元にした話は説得力がありました」「切腹の原因について全く違う考え方について大変おもしろい考え方であると思う。興味がある内容でした。」など多くの感想をいただきました。

新型コロナウイルス感染防止のため、参加者の皆様にマスクの着用や手指の消毒のご協力をいただき無事開催することが出来ました。

令和2年度まちづくり団体育成支援 補助金募集します

さらに
充実

令和2年度は、さらに充実した助成金になってます

近江八幡市内で市民活動・まちづくり活動する団体を応援する助成金です。

★前年度採択された団体も応募できます(2・3助成) 前回不採択団体も応募可能です。

補助内容

1. 創業補助(令和元年度の募集内容と同じ)

新たなまちづくり活動を始める団体、初めてまちづくり活動に取り組む団体、今までと違った活動に取り組む団体への補助金です。

1団体1回限り 上限30万円(対象経費の4/5以内)

2. しっかり活動運営補助A(令和2年度新設)

まちづくり団体として活動を開始してから3年以内(規約策定後3年以内)の初動期にある団体が活動の目的を達成するために必要な活動にかかる経費を補助します。

1団体2回まで(創業補助を受けていない団体は3回まで 上限10万円(対象経費の4/5以内))

3. ジャンプアップ運営補助B(令和2年度新設)

まちづくり団体として申請時点で3年を超え活動を継続している団体(規約策定後3年を超え)活動を継続、基盤を拡大または強化するために必要な活動にかかる経費を補助します。※前年度に活動実績があること。

1団体1回限り 上限15万円(対象経費の1/2以内)

補助対象団体

- ・活動の拠点が近江八幡市内にあること又はその活動が主に市内で行われていること。
- ・5人以上の市民で構成されていること。(市民以外の人も活動は可能)
- ・申請時に定款・規約・会則等を有していること。
- ・公益の増進に寄与することを目的とする団体であること。
- ・継続的な活動が期待できる団体であること。
- ・活動のすべてが特定の個人及び団体の利益を目的としない団体であること。
- ・公の秩序又は善良の風俗に反しない団体であること。

応募方法 9月30日(水)16:00必着

募集期間 令和2年6月1日～9月30日の間に必要書類をハートランド推進財団まで直接持参または郵送

提出書類

・交付申請書 ・団体概要書 ・事業計画書 ・収支予算書 ・団体の前年度の活動報告書及び収支計算書(令和2年度設立団体は除く) ・団体の定款・規約・会則など ・会員名簿 見積書(必要な経費がある場合)

説明会・相談会

新型コロナウイルス感染症の対策のため大勢の方を集めては開催しません。

個別相談・お出かけ相談を受けますのでハートランド推進財団まで電話・メールで申し込んで下さい

今年は、書類審査のみで審査します。

書類提出、相談、問い合わせ

(一財)ハートランド推進財団 TEL 0748-33-5510 E-mail chukan@npo-omi8man.com

令和元年度まちづくり団体育成支援事業補助金採択団体

採択団体名	活動内容	補助金額円
白鳥川の景観を良くする会	白鳥川桜並木の育成管理で、市民憩いの散策路造りと環境学習支援	216,000
北之庄沢を守る会	北之庄沢景観保全事業	300,000
ノルディック・ウォークで健康増進しよう	ノルディック・ウォークを市民に普及して健康増進に寄与する	300,000
発達障がいと知的障がいのある人の疑似体験型啓発キャラバン隊「花bee」	目に見えない障がいを理解するための疑似体験型啓発事業	84,000
フードバンクびわ湖	近江八幡市内でのフードバンク活動事業の拠点	280,000
NPO 法人 Moms fun	子育て応援カフェ事業	80,000
Hug baby 近江八幡	親子ふれあい活動をする事業	260,000
西の湖あそび隊	西の湖おはなしあそびを通じて自然保存・理解	160,000
キャリア教育を考える会	就業体験などを通じた、キャリア教育をひろめる活動	300,000



令和2年1月8日説明会の様子

それぞれの団体が、補助金を受けて活動に役立つ備品や、環境整備を整えましたが、新型コロナウイルス感染症の関係で活動が出来ない団体も出ていますが、この事態が収まり次第活動の再開をすることになっています。

各団体の活動情報等につきましては、(一財)ハートランド推進財団までお問合せ下さい。

採択団体「キャリア教育を考える会」さんより



昨年より実施している小中学生対象の「お仕事体験事業」。補助金でお仕事のユニフォームを購入。今後状況を見て「みいちゃんの1日スイーツカフェ」復活時に子供達にスタッフとしてカフェの接客をしてもらいます。詳細は、みいちゃんのお菓子工房ホームページにて。

ちびっこパティシエみいちゃんと一緒にケーキ屋さんを体験できますよ♪

